

七尾産業技術専門校 中期経営目標  
(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

## 1 施設の設置目的

「職業能力開発促進法」に基づき、新規学卒者及び離職者に対し、それぞれに応じた職業訓練を行い、時代のニーズにあった実践的技術・技能者を育成することにより、職業の安定と労働者の地位向上を図るとともに、地域産業界に寄与することを目的として設置しています。

## 2 施設の果たすべき役割

中能登地域における職業能力開発の拠点施設として、新規学卒者及び離職者の就職支援に向けた職業訓練を行っています。

## 3 事業内容

### (1) 若年者訓練

概ね35歳以下の若年者を対象とした職業訓練及び就職支援を行っています。

- ・自動車整備科（2年訓練 定員30人）

2級自動車整備士を育成するための訓練を行っています。

（入校資格：高等学校卒業以上）

- ・生産設備保全科（1年訓練 定員10人）

生産現場等での作業の自動化及び省力化に対応できる設備保全技術者を育成するための訓練を行っています。（入校資格：高等学校卒業以上）

### (2) 離職者訓練

再就職を目指す離職者を対象とした職業訓練及び再就職支援を行っています。

- ・土木建築科（6ヶ月訓練 定員15人（年間30人））

土木工事現場で必要とされる作業用建設機械等の操作習熟、型枠・鉄筋組立技能等の即戦力となる技能者を育成します。

## 4 現状と課題

### (1) 若年者の支援について

#### ①入校生の確保について

本校での訓練を希望する生徒を募集するため、毎年2～3回、普通高等学校を中心に訪問し勧誘を行っていますが、産業技術専門校の認知度の低さ等により、進路の選択肢とならないことが多く、令和4年度の入校率（定員充足率）は31%になっています。

入校生確保の一つとして平成24年度から、産業技術専門校の訓練内容等を知っていただけるよう、高等学校卒業予定者等を対象とした体験見学会を開催し、認知度向上に努めているところであります。

## ②就職支援について

企業の人材ニーズに対応した職業訓練を実施するため、訓練内容の見直しを行い、就職率向上に努めています。

就職実績のある企業・事業主団体と連絡を取り求人の開拓を行っており引き続き、より多くの就職先確保に努める必要があります。

## (2) 離職者の支援について

近年、雇用情勢の回復により、職業訓練を受講せずに再就職を目指す離職者が増加しているため、入校率は減少傾向にあります。

訓練内容については、訓練期間修了後、企業での即戦力となれるように実践的な訓練を行っており、入校状況や企業ニーズ等を把握しながら、現在、現場で主流となっている作業方法を実習に取り入れるなどの訓練内容や科目の見直しを行い、効果的な訓練を行っています。

また、就職を支援するため、ハローワークと連携を密にし、求人情報を収集するとともに企業と連絡をとり求人の開拓をしています。

こうした取り組みにより、訓練生の就職率の向上に努めるとともに、企業が必要とする人材を育成するべく、引き続き、取り組みを強化していきます。

## (3) 施設運営の効率化について

施設運営の効率化に向け、積極的な節電（照明・冷暖房）をはじめとした維持管理の工夫に取り組んできたところであり、今後とも、経費の節減・効率化に努めていくこととしています。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標

- |                            |
|----------------------------|
| ① 若年者入校率を5年間で80%以上に向上させます。 |
| ② 若年者就職率を5年間で100%を維持します。   |
| ③ 離職者就職率を5年間で80%以上に向上させます。 |

### (2) 測定指標と目標値

測定指標	基準値 (H29～R1平均)	中間目標値 (R7)	目標値 (R9)
① 若年者入校率	72.5%	75%	80%以上
② 若年者就職率	97.3%	100%	100%
③ 離職者就職率	66.6%	70%	80%以上

## 6 目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 若年者の支援について

#### ①入校生確保の取組

- ・高校生等に産業技術専門校を知ってもらうために、訓練内容や就職先企業等を掲載した、わかりやすい内容の入校案内用パンフレット等を作成します。
- ・高校生等がモノづくり産業に、より興味が湧くように、企業と連携して高校生等を対象とする体験見学会を開催します。
- ・訪問する高等学校数や訪問回数を増やし、入校生確保に努めます。

#### ②就職支援の取組

- ・企業ニーズに対応するため、企業訪問や聞き取りを行い、訓練内容に反映出来るようにします。
- ・訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度の向上に向けたアンケートを実施し、訓練内容の充実を図ります。
- ・就職実績のある企業に加え、新規の求人開拓を強化するとともに、訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスを実施するなど、きめ細かな就職支援を行います。

### (2) 離職者の支援について

- ・訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度の向上に向けたアンケートを実施し、訓練内容の充実を図ります。
- ・ハローワークへの就職斡旋協力の要請や、企業からの求人の開拓を引き続き実施します。
- ・訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスの実施など、今後ともきめ細かな就職支援を行います。
- ・新たに、訓練生の就職意欲を高めるため校長やOBによる就職講話会を実施します。